

小平駅北口地区第一種市街地再開発事業のコンセプト

平成29年9月14日時点
小平駅北口地区市街地再開発準備組合

本資料の内容は確定ではありません。今後の協議等により変更が生じます。

平成30年1月17日
都市基盤整備調査特別委員会
関係資料③

小平駅北口地区の概要

■計画区域の概要

小平駅北口地区第一種市街地再開発事業の計画区域は、西武新宿線及び拝島線が乗り入れる小平駅の北口駅前に位置し、南側は西武鉄道、北側と西側は東京街道（都道227号線）、東側は小平市道第C-19号線に囲まれた面積約2.1haの区域です。

再開発事業の概要

■事業の名称

小平駅北口地区第一種市街地再開発事業

■事業の施行者

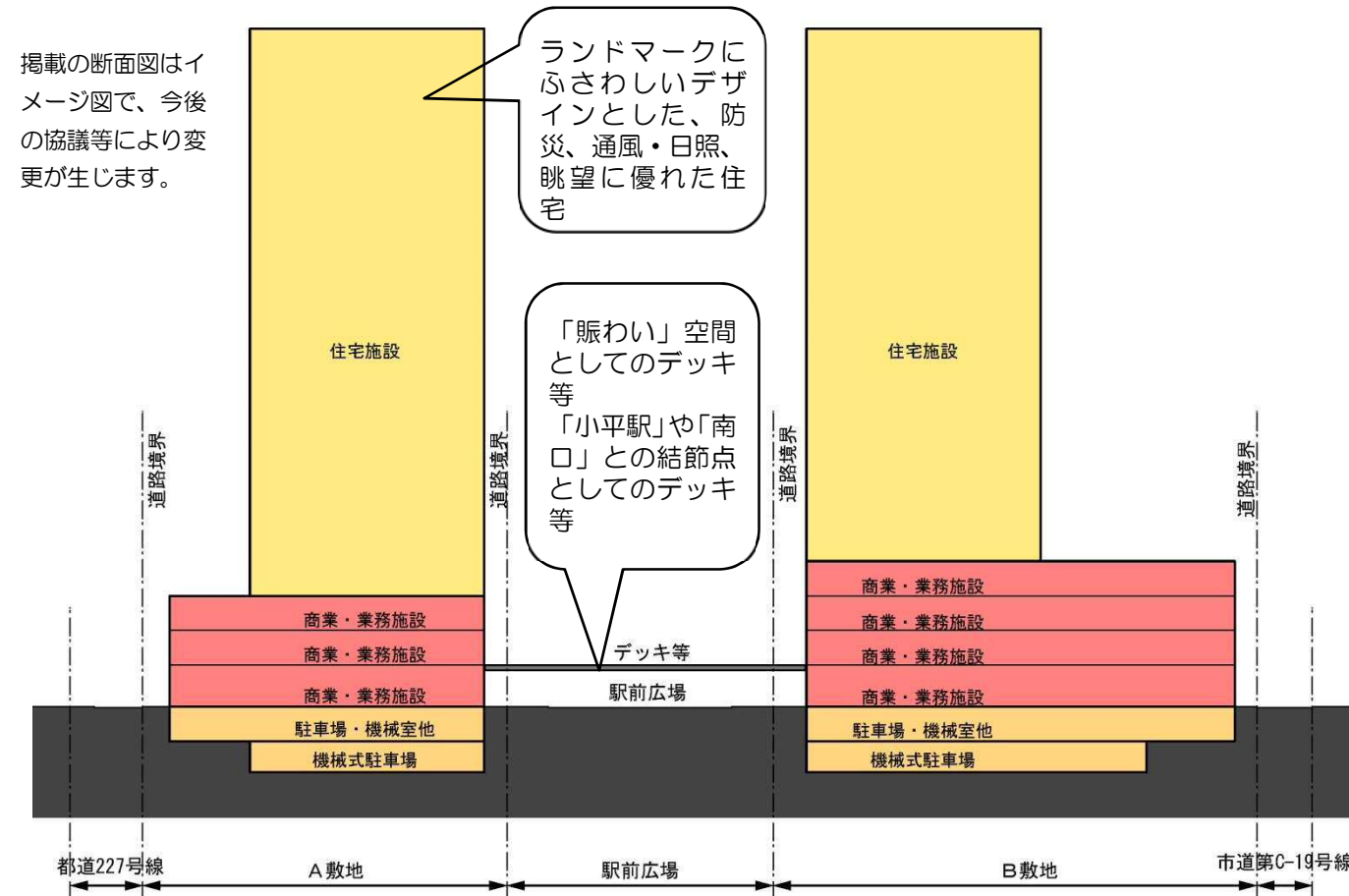
小平駅北口地区市街地再開発組合（予定）

■施設建築物等の概要

施行区域面積	約 21,600㎡	建築面積	A敷地 約 3,600㎡ B敷地 約 5,200㎡	住戸数	A敷地 約 310戸 B敷地 約 390戸
敷地面積	A敷地 約 5,600㎡ B敷地 約 7,400㎡	主要構造	鉄筋コンクリート造	駐車台数 (商業業務、住宅用)	A敷地 約 180台 B敷地 約 260台
延床面積	A敷地 約 44,000㎡ B敷地 約 63,000㎡	階数	地下2階、地上約28階	駐輪台数 (商業業務、住宅用)	A敷地 約 840台 B敷地 約 1,400台

掲載の内容は確定ではありません。今後の協議等により変更が生じます。

■整備イメージ



■事業の経過

- 平成22年6月：小平駅北口街づくり協議会設立
- 平成25年2月：小平駅北口地区再開発協議会設立
- 平成27年9月：小平駅北口地区市街地再開発準備組合設立

■目標スケジュール(協議等により変更があります)

- 平成30年度：都市計画決定
- 以後、組合設立、工事着工の予定

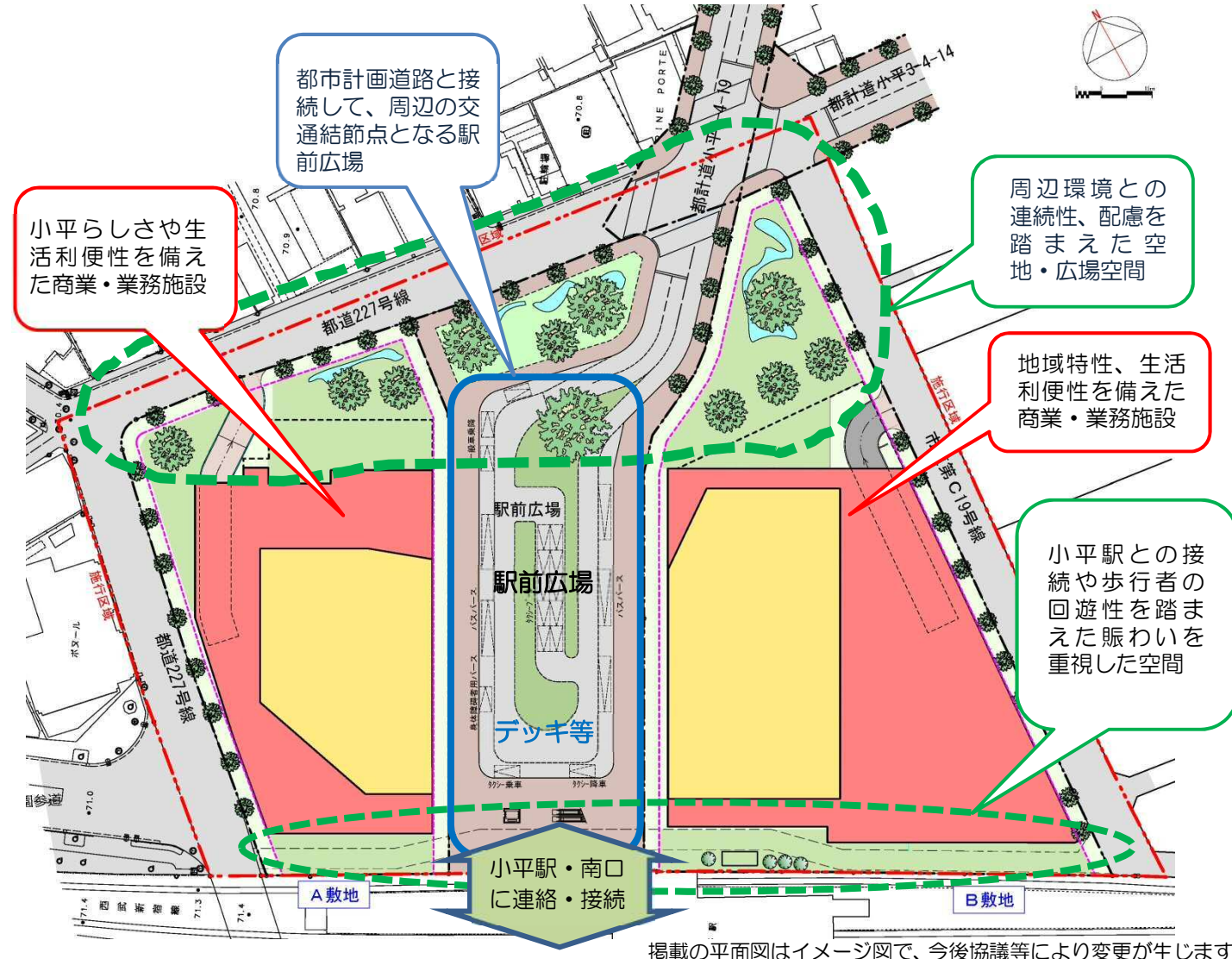
再開発事業の基本コンセプト

■地元の要望（小平駅北口地区再開発協議会ワークショップまとめ）

- 1 買い物など色々な用事が十分できる生活利便性のよい街
- 2 安全で安心できるきれいな街
- 3 緑が多くあり気分的にゆとりのある街
- 4 バス、タクシーなどの交通の利便性のよい街
- 5 駅前に都市型住宅（マンション）がある街

■再開発事業の基本コンセプト

- 1 小平市の新しい顔づくり
⇒ 武蔵野の自然豊かな風景と調和のとれたゆとりある街を整備し、市民や来街者等が憩える場を提供する。
- 2 駅舎との一体化による歩行者・自動車の安全性と利便性向上、周辺を含めた歩行者空間の体系化
⇒ 誰にも優しく安全で安心できる駅前広場・デッキ等を整備（バリアフリー、防犯対策等）し、小平駅南北の歩行者ネットワークの向上を図り、生活利便性のよい街を創出する。
- 3 周辺を含めた自転車及び自動車の体系化
⇒ 駅前広場を含めた都市計画道路等の整備を行い、小平駅北口を中心としたバス等の公共交通機関のネットワークを完成する。駐輪場等の整備により、自転車利用者の利便性を図る。
- 4 住宅と住環境の改善
⇒ 武蔵野の面影を反映しつつ、防災、通風・日照、眺望等の改善を図る。
- 5 小平らしさを演出する施設
⇒ 地産地消（朝市等）、情報・文化の発信（ルネ等との連動による“アート”の街の創出等）、少子高齢化・健康増進対応（FC東京などとの連携による“スポーツの街”等）等の場となる施設の整備を図る。



掲載の平面図はイメージ図で、今後協議等により変更が生じます。